

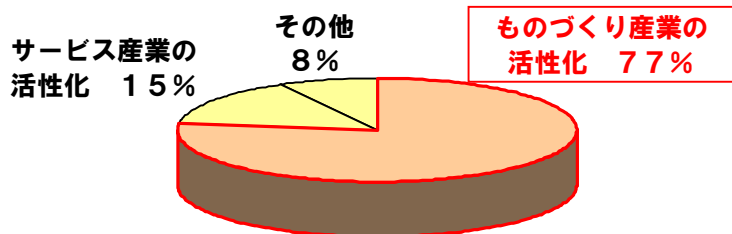
広報誌「はりま道しるべ」のアンケート結果について

1 「はりま道しるべ」発行概要

- 発行地域 播磨臨海地域全域（明石市、稲美町、播磨町、加古川市、高砂市、姫路市、太子町）
- 発行部数 1号から7号まで **約330万部**
アンケート回収数 **約1万件（3号、7号はアンケートなし）**
- 各号の内容 1号から4号 地域の現状と課題について
5号 ルート帯について（協議会構想案）
6号 道路特定財源制度について
7号 はりまフォーラムに開催について

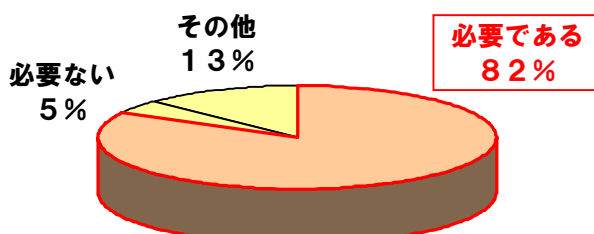
2 アンケート結果

播磨臨海地域が目指す地域像



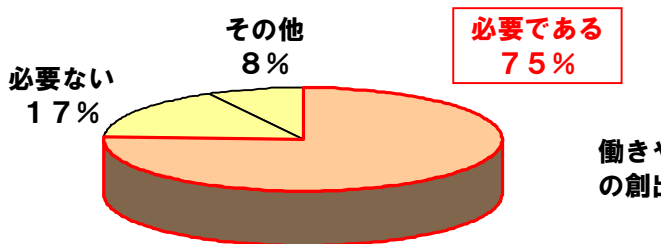
2号：回答1,854件

暮らしを支える「みちづくり」について



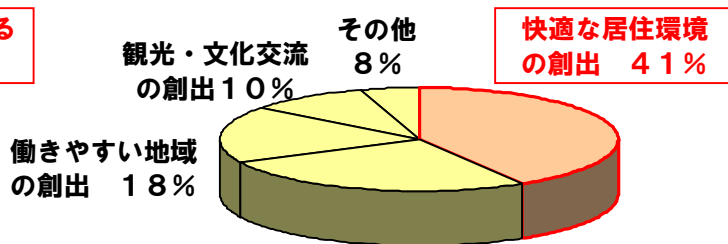
6号：回答2,535件

播磨臨海地域道路について



4号+5号：回答3,933件

播磨臨海地域道路に期待すること



災害に強いまちづくりの推進

4号：回答2,702件

3 アンケート個別意見

個別意見の傾向



個別意見総数 7,815件

- ・まだまだ開発できる地域だから、先に道路を整備しないと発展が鈍る。
- ・新しい産業発展に役立つ道路整備を望む。
- ・毎日の渋滞に苦しんでいる。
- ・救急車が渋滞の中で動けなくなり、大切な夫を亡くしました。このようなことが減るような整備をお願いします。
- ・母が救急車で移転しました。一刻を争う病状でしたが、車の停滞で動けず最悪の状態になりました。何とかこの交通量を考えていただきたい。
- ・以前から加古川、姫路バイパスの事故は多い。交通量も多く、今も危険。
- ・生活道路とは別の独立した道路により、流通スピードの改善が必要。